



2019年3月14日

各 位

上場会社名 VALUENEX株式会社  
 代表者名 代表取締役社長CEO 社長執行役員 中村 達生  
 (コード番号 4422 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役CFO 上席執行役員 コーポレート本部長 工藤 郁哉  
 (TEL. 03-6902-9833)

## 第2四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2018年10月30日に公表しました2019年7月期の第2四半期累計期間（2018年8月1日～2019年1月31日）の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2019年7月期第2四半期連結業績予想と実績との差異（2018年8月1日～2019年1月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	233	△51	△51	△51	△20円71銭
今回実績 (B)	217	△93	△108	△123	△49円11銭
増減額 (B-A)	△15	△42	△57	△71	—
増減率 (%)	△6.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年7月期第2四半期)	168	△29	△27	△30	△13円51銭

#### 2. 差異が生じた理由

(売上高)

1月に売上を見込んでおりました案件の売上計上が2月以降にずれたことによるものです。

(営業利益)

販売費および一般管理費は、事業拡大をより安定的に図る目的から、業績予想で計上していた営業要員と開発要員等を前倒しして採用する結果となりました。そのため、採用費を含む人件費関連及び一時的な業務委託費が増加したことから、営業損失は業績予想と比べて、42百万円の増加となりました。

(経常利益)

上場関連費用等が業績予想よりも多く発生し、営業外費用としたことから、経常損失は業績予想と比べて、57百万円の増加となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

繰延税金資産の取崩しなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は業績予想と比べて、71百万円の増加となりました。

なお、当社グループは売上が下半期に偏重していることから、通期の連結業績予想につきましては上場時に公表した内容を据え置いております。今後、業績予想修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上